



[野菜部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

7. 良食味キャベツ「牛窓甘藍」の収穫条件

[要約]

良食味キャベツ「牛窓甘藍」は、官能評価で「甘味」と「多汁性」が高く、「苦味」、「青くさい風味」、「刺激味」が少ない。この条件を満たす「牛窓甘藍」を生産するには、1～3月に中玉（1.4～1.6kg）以上に育ったものを収穫する。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 環境研究室

[連絡先] 電話 086-955-0532

[分類] 情報

[背景・ねらい]

これまでに良食味キャベツ「牛窓甘藍」の味の特徴をレーダーチャート化し、食味のアピールポイントを視覚化している。ここでは、良食味キャベツ「牛窓甘藍」を生産する条件を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 8～9月に定植するキャベツの収穫時期は12～4月で、結球部の糖度は1～3月の厳寒期に品種や大きさに関わらず、おおむね8度以上となる（図1）。しかし、官能評価による味の「総合評価」と糖度との相関は低い（図2）。
2. 官能評価による味の「総合評価」と正の相関が高いのは、官能評価の「甘味」「多汁性」であり、負の相関が高いのは、官能評価の「苦味」、「青くさい風味」、「刺激味」である（図2）。
3. 官能評価による味の「総合評価」が高くなる条件は、良食味品種を栽培し、中玉（1.4～1.6kg）以上になったものをおおむね1月～3月に収穫した場合となる（図3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 良食味品種とは「TCA-422」である。他品種とは同時期に同地域で栽培されている品種である。
2. 官能評価はスライサーで千切りにし、生の状態で行った。
3. 現在、1～3月に収穫する中玉以上の「TCA-422」を「牛窓甘藍」のブランドで出荷している。
4. 農業研究所の圃場で栽培した結果である。



[具体的データ]

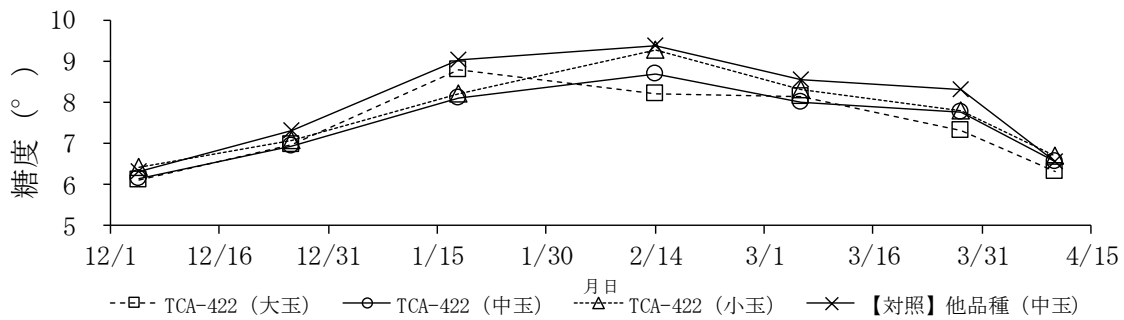


図1 キャベツ糖度の品種・大きさ別推移

注) 大玉：1.8～2.2kg、中玉：1.4～1.6kg、小玉：1.0～1.2kg

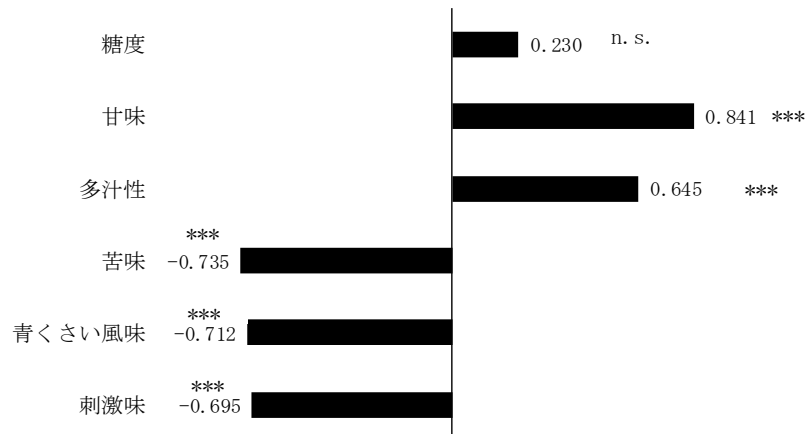


図2 官能評価値による味の「総合評価」と各項目との単相関係数

注) 糖度は測定値、他は官能評価値、品種は「TCA-422」及び他品種を用いて評価した
 図中の***は0.1%の有意水準で相関があり、n. s. は相関が無いことを示す

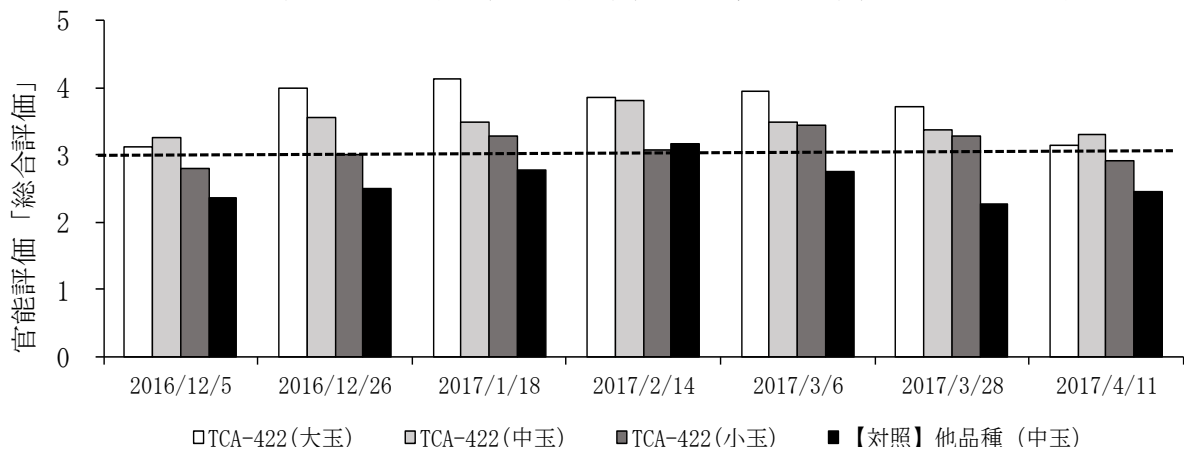


図3 キャベツの収穫時期、品種、大きさごとの官能評価による味の「総合評価」の変化

注) 官能評価「総合評価」：1;まずい、2;ややまずい、3;ふつう、4;ややおいしい、5;おいしい
 12/5 及び 12/26 収穫は 8/4 播種 9/6 定植、それ以外は 8/12 播種 9/15 定植したものの中から
 一定の大きさになったものを収穫した

[その他]

研究課題名：ブランド力向上を目指したキャベツの良食味安定生産のための施肥法の確立

予算区分：県単

研究期間：2016～2018 年度

研究担当者：鳥家あさ美、鷺尾建紀、森次真一、藤原宏子、石井 恵

関連情報等：[平成 28 年度試験研究主要成果、59-60](#)